

チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87701 系統（飼料）に係る
食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えダイズ「チョウ目害虫抵抗性ダイズ MON87701 系統（以下「ダイズ MON87701」という。）」については、平成 22 年 6 月 1 日付けで遺伝子組換え飼料の安全性審査の申請があったことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

ダイズ MON87701 は、チョウ目害虫に対する抵抗性を付与するために改変 *cry1Ac* 遺伝子を導入したものである。

改変 *cry1Ac* 遺伝子の供与体は、グラム陽性土壌細菌である *Bacillus thuringiensis* ssp. *kurstaki* であり、改変 *cry1Ac* 遺伝子によって産生される改変 Cry1Ac タンパク質は、ダイズ栽培で発生する *Anticarsia gemmatalis*、*Pseudoplusia includens* 等のチョウ目害虫に対して殺虫活性を示す。

また、ダイズ MON87701 の作出過程で選抜マーカーとして利用するために、*Agrobacterium* sp. CP4 株由来の改変 *cp4 epsps* 遺伝子を導入したが、交配による遺伝的分離により、改変 *cp4 epsps* 遺伝子を持たず、改変 *cry1Ac* 遺伝子のみを持つ個体を選抜したため、ダイズ MON87701 には、改変 *cp4 epsps* 遺伝子は含まれていない。

3. 利用目的および利用方法

ダイズ MON87701 の飼料としての利用目的や利用方法は、従来のダイズと相違がない。

4. 諸外国における申請等

申請国	申請・確認年月	申請先
米国	2009 年 5 月申請 2009 年 3 月申請	米国食品医薬品庁 (FDA) 米国農務省 (USDA)
カナダ	2009 年 6 月申請	カナダ食品検査機関 (CFIA)
オーストラリア/ ニュージーランド	2009 年 8 月申請	オーストラリア・ニュージーランド食品基準機関 (FSANZ)